

学生募集要項

令和4年度

男女共学

こども教育学部
幼児教育学科

学校推薦型
指定校制
入試用

YOKOHAMA SOEI UNIVERSITY



学校法人堀井学園

横浜創英大学

Contents

— 教育理念 —	
教育理念	2
— 調査書の取り扱いについて —	
調査書の取り扱いについて	3
— 募集人員・日程 —	
募集人員	4
入学試験日程	4
— 出願から入学手続まで —	
出願から入学手続まで	5
— 出願について —	
1 出願資格	6
2 事前準備	6
3 インターネットによる出願方法	8
— 受験票について —	
1 受験票の発行	11
2 受験票の取り扱い	11
— 試験当日の注意事項 —	
1 試験会場	11
2 学校保健安全法で出席の停止が 定められている感染症について	12
3 その他	12
— 合格発表 —	
発表方法	13
— 入学手続 —	
入学手続	13
— 入学前教育 —	
入学前教育	13
— 横浜創英大学奨学金(給付型) —	
横浜創英大学奨学金(給付型)	14
— 横浜創英大学後援会家計支援奨学金(給付型) —	
横浜創英大学後援会家計支援奨学金(給付型)	14
— 奨学金・教育ローン —	
1 奨学金	14
2 公的な教育ローン	15
3 提携教育ローン	15
— 学納金(令和4年度) —	
こども教育学部の学納金等(学納金及び諸費用)	16
— 添付書類 —	
学校推薦型指定校制入試推薦書	17
学校推薦型指定校制入試志望理由書	19
— 周辺地図及び交通アクセス —	
周辺地図及び交通アクセス	21

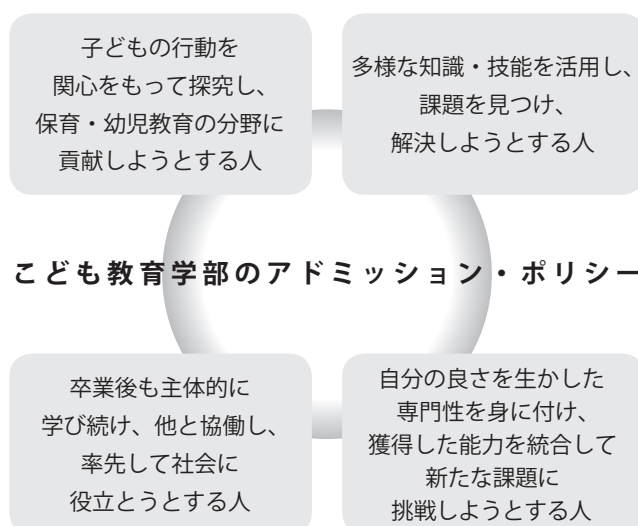
今後の新型コロナウイルス感染状況によって、募集要項に記載されている選抜方法とは異なる方法で実施することがあり得ます。その場合は速やかにホームページ等で周知いたします。

教育理念

本学は、建学の精神に則り、科学的思考に基づく判断力を持ち、人間に対する多面的な理解と専門的な知識・技能を身に付け、地域社会に貢献できる人材を育成することを教育理念としている。

こども教育学部の教育目的・目標

こども教育学部では、保育・教育施設や地域社会において、保育・幼児教育の専門職として確かな貢献のできる人材育成を教育目的としています。そのため、高度な専門的知識・技能やコミュニケーション能力、情報活用能力、社会の一員として諸課題に向き合い協働して学び続ける能力、自らの個性を生かし新たな課題を見だし解決していく能力の獲得を目標として教育を行います。



〈個人情報に関する取扱い〉

横浜創英大学が保有した皆様のご住所、ご氏名等の「個人情報の取扱い」につきましては、個人情報保護法に基づき、入学試験事務処理手続以外には利用いたしません。なお、保有する個人情報の開示及び第三者への提供や預託は一切行いません。

調査書の取り扱いについて

横浜創英大学における令和4年度入学者選抜は、本学の入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の「学力の3要素」を多面的・総合的に評価することを基本とし、各入試区分の選抜方法によって行うこととします。

各学部の調査書の取り扱いは全入試とも以下の通りとします。

<看護学部>

下記1から9の項目に、看護学部のアドミッション・ポリシーに関する記述があった場合、それを積極的に評価する。

1. 学習成績の状況
2. 出欠状況
3. 各教科・科目及び総合的な学習の時間の学習における特徴等
4. 行動の特徴、特技等
5. 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等
6. 取得資格・検定等
7. 表彰・顕彰等の記録等
8. 特別活動の記録
9. 大学が調査書の備考欄に記載するように求める事項
 - (1)看護への関心の高さ
 - (2)コミュニケーション力
 - (3)自主的な学習への取組み

看護学部のアドミッション・ポリシー

- 看護に関心があり、保健医療福祉分野に貢献したいと考えている人
- 人と関わることが好きで、他者の気持ちを重んじる態度を備えた人
- 看護職者に求められる基礎的な知識や態度を有し、自己の課題に積極的に取り組む人

<こども教育学部>

下記1から9の項目に、こども教育学部のアドミッション・ポリシーに関する記述があった場合、それを積極的に評価する。

1. 学習成績の状況
2. 出欠状況
3. 各教科・科目及び総合的な学習の時間の学習における特徴等
4. 行動の特徴、特技等
5. 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等
6. 取得資格・検定等
7. 表彰・顕彰等の記録等
8. 特別活動の記録
9. 大学が調査書の備考欄に記載するように求める事項
 - (1)保育、子ども、発達に関する関心や知識・技能
 - (2)対人関係スキルやコミュニケーションスキル
 - (3)主体性や協調性、協働の資質

こども教育学部のアドミッション・ポリシー

- 子どもの行動に関心をもって探究し、保育・幼児教育の分野に貢献しようとする人
- 多様な知識・技能を活用し、課題を見つけ、解決しようとする人
- 卒業後も主体的に学び続け、他と協働し、率先して社会に役立つ人
- 自分の良さを生かした専門性を身に付け、獲得した能力を統合して新たな課題に挑戦しようとする人

学校推薦型指定校制入試

選考基準

学校推薦型指定校制入試の選考にあたっては、本学が実施する「口述試験」・「面接試験」・「書類審査（志望理由書、調査書）」を併せて総合評価し、下記の者を選考する。

1. 出願資格を満たし本学を第一志望とする者で、将来の目標やしっかりとした志望動機を持っているもの
2. 志望する学部・学科に関連する学力に優れ、適性・能力を有するものと認められるもの

*書類審査のうち、調査書については、P.3「調査書の取り扱いについて」に準じて評価を行います。

第Ⅰ期・第Ⅱ期とに分けて募集します。

ただし、第Ⅱ期の募集は第Ⅰ期の応募状況により実施しない場合もあります。

募集人員・日程

学部・学科	定員	学校推薦型指定校制入試
こども教育学部幼児教育学科	80名	20名

(1) 出願

		出願登録期間 (必要書類受付期間)	入学検定料払込期限
受付	第Ⅰ期	令和3年11月1日(月)～11月10日(水) 15:00まで 書類郵送(令和3年11月1日(月)～11月10日(水) 消印有効)	出願登録日の翌日23:59まで 最終日11月10日(水)は16:00まで
	第Ⅱ期	令和3年11月28日(日)～12月8日(水) 15:00まで 書類郵送(令和3年11月28日(日)～12月8日(水) 消印有効)	出願登録日の翌日23:59まで 最終日12月8日(水)は16:00まで
入学検定料		35,000円	

(2) 試験日時・試験会場

試験日時	第Ⅰ期	令和3年11月14日(日)
	第Ⅱ期	令和3年12月12日(日)
受付開始 8:30 面接試験開始 9:00～ 面接開始時間は、受験番号により異なります。		
試験会場	横浜創英大学	

(3) 試験科目及び配点

試験科目	配点(点)	試験時間(分)
面接・口述試験	100	20
書類審査	50	—

(4) 合格発表日 合格発表については、P.13をご覧ください。

合格発表	第Ⅰ期	令和3年12月1日(水)
	第Ⅱ期	令和3年12月17日(金)

(5) 入学手続 入学手続書類等は、合格通知書とともに郵送します。

受付	期間	第Ⅰ期 令和3年12月2日(木)～12月14日(火) ※消印有効
		第Ⅱ期 令和3年12月20日(月)～令和4年1月7日(金) ※消印有効
	方法	入学手続締切日(消印有効)までに学納金等を振り込み、手続書類を郵送してください。

出願から入学手続まで

①入試制度の確認

募集要項や本学のホームページ「入試情報」より、出願する学部、学科や入試制度、出願期間、試験日などを確認してください。

②出願事前準備

調査書、推薦書、志望理由書が必要になりますので事前に用意してください。

③ホームページにアクセスし、出願登録をする

パソコン又はスマートフォンで「横浜創英大学インターネット出願」にアクセスし、ガイダンス画面に従って、出願登録をしてください。

④入学検定料を支払う

インターネットの出願ページより支払い方法を選択し、入学検定料を期限までに支払ってください。

⑤志願票などを印刷し、必要書類を郵送する

入学検定料の支払い後、志願票を印刷し、調査書などの出願必要書類とともに郵送してください。

⑥受験票の印刷

出願手続きが完了すると受験票の印刷ができるようになります。

⑦試験当日の注意事項

「受験票」を必ず持参してください。

⑧合格発表

合格通知書と入学手続書類一式を速達で郵送します。
また補助的手段として、インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）を利用した合否案内システムでのご案内も行います。

⑨入学手続

所定の学納金等（入学金を含む学納金と諸費用）を期日までに本学指定の銀行口座に振り込み、入学手続書類（誓約書等）を記入の上、本学へ郵送してください。

出願について

出願はインターネットで行います。

インターネット出願は、インターネットで出願登録を行い、コンビニエンスストアなどで受験料を払い込んだ後に志願票などを印刷し、必要書類とともに大学へ郵送して出願手続きがすべて完了となります。

1 学校推薦型指定校制入試における出願資格

次の1から3のいずれかに該当する者で、かつ4に該当する者で、出身学校長が推薦した者

- 1 高等学校又は中等教育学校を令和4年3月卒業見込みの者
- 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者
- 3 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、次の(1)、(2)のいずれかに該当する者。
 - (1) 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育を受け、日本の高等学校に編入学を認められた者で、令和3年4月1日から令和4年3月31日までに卒業および卒業見込みの者。
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4年3月修了見込みの者。
- 4 出身学校における指定教科評定平均値が、大学が指定する推薦基準以上であること。(こども教育学部：全体の評定平均値)

2 事前準備

調査書、その他の出願に必要な書類、顔写真等の準備や印刷環境などを確認する必要があります。

出願資格を確認するもの(調査書等)が必要になりますので、事前に準備をしてください。

次の入学試験の出願には以下の書類が必要となりますので、本学ホームページより事前にダウンロードをして準備してください。(学生募集要項の添付書類による提出も可)

- 学校推薦型指定校制入試：推薦書、志望理由書

(1) 出願資格を確認するもの

『調査書』※文部科学省所定の様式により、出願前3か月以内に作成し厳封されたもの

(2) 学校推薦型指定校制入試に必要な資料

学校推薦型指定校制入試推薦書及び志望理由書

学校推薦型指定校制入試の志願者は、「推薦書」、「志望理由書」を提出

- 学校推薦型指定校制入試志願者は、添付書類1「学校推薦型指定校制入試推薦書」及び添付書類2「学校推薦型指定校制入試志望理由書」を提出してください。

(3) その他必要な資料

その他

必要に応じ、各種書類を提出

- 婚姻等により改姓した場合は、改姓・改名の事項が記載された公的証明書「戸籍抄本」等を提出してください。

(4) 顔写真をデータで用意してください

出願の登録を行う際、受験者本人であることを証明できる「証明写真（顔写真）データ（以下、顔写真データ）」が必要となります。顔写真データのアップロードが完了していない場合、出願登録は完了しませんので注意してください。出願時にアップロードした顔写真データは、試験当日の受験者本人の照合及び入学後の学生証に使用します。

なお、**入学検定料支払い後の写真変更は一切認められません**ので注意してください。出願前に、写真店や証明写真機（いずれも撮影したデータを入手できるもの）等で撮影し、顔写真データを準備してください。

また、証明写真（顔写真）データは郵送不可のため、必ず画面から登録してください。試験当日に持参する必要はありません。顔写真データのアップロード方法は、インターネット出願ガイダンス画面を確認してください。

【顔写真データの条件について】

次の条件を満たす顔写真データを準備してください。条件を満たす顔写真データであれば、デジタルカメラ、スマートフォン、タブレット端末等を使用して撮影したものでかまいません。

- ① 出願3か月以内に撮影したものであること。
- ② **鮮明なカラー画像**（白黒画像は不可）であること。
- ③ **制服・私服は問いません。**
- ④ 肩から上の上半身、正面、無帽で背景や枠がないもの。
- ⑤ 背景は、白、青またはグレーを基調とした無地であること（例えば、背景が風景やカーテンなどの場合は不備となります）。
- ⑥ データ形式は「JPEG」であること（ファイル拡張子はjpg）。
- ⑦ データサイズは100KB以上、5MB以下であること。

※前髪で目が隠れているなど、個人の判別が困難なものは使用できません。

※顔全体が白すぎるもの（陰影がないもの）、眼鏡に光が反射して個人が判別できないようなものは使用できません（フラッシュを使用して撮影する場合は注意してください）。

※影が濃く出すぎて輪郭がわからないものは使用できません（撮影する際、背景に近づきすぎないように注意してください）。

※**プリントされた顔写真をスマートフォン等で撮影（複写）した画像は使用できません。**

※アップロードする際、出願システムのトリミング機能や拡大縮小機能、画像が横になった場合は回転機能を利用するなど、画面の表示枠に合わせてください。

【適当な写真例】



・上半身、脱帽、正面向（タテ4cm×ヨコ3cm）で、3か月以内に撮影した鮮明なもの（1枚）。

（カラー写真に限る。スナップ写真は不可）

・受験の際にメガネを着用する者は、メガネ着用の写真を使用してください。

・制服・私服は問いません。

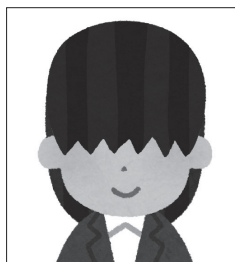
【不適当な写真例】 ※次のような写真の場合は、再請求することもあります



頭部が切れている
(髪型がわからない)もの



目を閉じているもの



髪の毛が目にかかっているもの



マスクを着用しているもの



照明がメガネに反射しているもの

5) プリンター（印刷できる環境）を用意してください

白色のA4用紙をカラー印刷できるプリンターを用意してください（動作確認も必ず行ってください）。自宅に無い場合は、学校や友人、コンビニエンスストアのプリントサービスなど、PDFファイルを印刷できる場所で印刷してください。スマートフォンはコンビニエンスストアのプリントサービスを利用できます。

PDF印刷確認も事前に行ってください。

出願登録後、以下の資料を印刷することになります。

- ① 志願票
- ② 大学へ郵送するときの宛名
- ③ 受験票
- ④ その他必要な資料（推薦書・志望理由書など）

プリンターに関する詳細は、インターネット出願ガイダンスページの「Post@net ネット出願に関するQ&A」で確認してください。

3 インターネットによる出願方法

(1) 「インターネット出願」の流れ



STEP 1

入試制度の確認

- 入学試験要項を必ず確認してください。



STEP 2

パソコン又はスマートフォンで横浜創英大学ホームページにアクセス (<http://www.soei.ac.jp>) して出願データの登録

- インターネットの環境が必要になります。パソコン又はスマートフォンを準備してください。（環境が整っているものであればどこからでも登録を行うことができます）
- 各入試の出願登録期間中にアクセスして、インターネット出願サイトにお入りください。
- 写真及びメールアドレス※1も必ず登録してください。
- 出願登録期間の最終日は15時までに登録を済ませてください。
- 登録完了後に発行される「支払番号※2」は忘れずに管理してください。

※1 メールアドレスを準備してください。

パソコン又は携帯電話、スマートフォンでご利用のメールアドレスを使用します。メールアドレスをお持ちでない場合は、パソコン・スマートフォン等で利用可能なメールアドレスを取得の上、出願手続きを行ってください。

※2 「支払番号」は、入学検定料の支払い時に必要であり、出願登録ごとの固有の番号です。

「支払番号」は、支払い方法により次のいずれかの名称となります。

「払込票番号」、「お客様番号」、「オンライン決済番号」、「受付番号」

- ① 出願登録完了・入学検定料の支払完了・受験票発行時など、大学から連絡をする場合にメールを送信します。ドメイン指定受信を設定している場合、【@soei.ac.jp、@postanet.jp】を受信できるように設定してください。
- ② Gmail やYahoo! などのフリーメールはご自身の責任の範囲で利用してください。
- ③ 当インターネット出願からの各通知メールが、迷惑メールフォルダに振り分けられる可能性がありますので注意してください。
- ④ 当インターネット出願からの各通知メールが、メールサービスを運営する会社の迷惑メール対策の関係から、ウイルスや迷惑メールと判断され、メール自体が届かない場合があります。その場合、大学ではメールが届かなかったことを把握することができません。これは、メールサービス提供側のシステムやメーラー（PCや携帯電話）の設定上の問題であるということをご理解いただきますようお願いいたします。

メールアドレスに関する詳細は、インターネット出願ガイダンスページの「Post@net ネット出願に関するQ&A」で確認してください。

パソコン・モバイルの環境に関する詳細は、インターネット出願ガイダンスページの「Post@net ネット出願に関するQ&A」で確認してください。



STEP 3 入学検定料の納入

- インターネット出願登録内容確認ページより、入学検定料の支払い方法をコンビニエンスストア/クレジットカード/ペイジーから選択し、支払いを行ってください。
- 入学検定料の支払いが完了しないと、志願票などを印刷することができません。
- 出願登録期間の最終日は16時までに支払いを完了してください。

下記のコンビニエンスストア、ペイジー（銀行・郵便局（ゆうちょ銀行）ATM、ネットバンク）、クレジットカード（Visa、Master Card、JCB）のいずれかで入学検定料の支払いが可能です。



FamilyMart

LAWSON



Seicomart

（セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート）

- ① クレジットカード支払いの場合、出願登録完了と同時に支払いが完了します。
- ② コンビニエンスストア、ペイジー（銀行・郵便局（ゆうちょ銀行）ATM、ネットバンク）の場合には、出願登録の後に入学検定料を支払うことになるので、余裕をもった出願を心掛けてください。また、営業時間はコンビニエンスストアやATMなど施設により異なりますので事前によく確認してください。
- ③ 銀行窓口での支払いはできません。
- ④ コンビニエンスストアに設置されているATMでの支払いはできません。
- ⑤ コンビニエンスストアでの支払いは現金のみ（上限は30万円）です。電子マネーやクレジットカードは利用できません。
- ⑥ 入学検定料の他に、1回の出願登録につき支払手数料が必要です。
- ⑦ ペイジー（銀行・郵便局（ゆうちょ銀行）ATM、ネットバンク）、クレジットカードを選択した場合は、領収書が発行されません。領収書が必要な場合には、コンビニエンスストアを選択し、コンビニエンスストアが発行する領収書を利用してください。

入学検定料の支払いに関する詳細は、インターネット出願ガイダンスページの「Post@net ネット出願に関するQ&A」で確認してください。

**STEP 4****必要書類（「志願票」等）の印刷**

- 志願票などはすべてPDFを印刷することになります。事前にPDFが印刷できるかを確認してください。
- 出願書類提出期限（消印有効）までに出願書類の郵送を行ってください。
- 出願書類の郵送に必要な「志願票」及び「宛名ラベル」が印刷可能になるまでに、「入学検定料の納入」後、遅い場合には2時間くらいかかることがありますので余裕をもって出願をしてください。

**STEP 5****必要書類（「志願票」、「調査書」等）を横浜創英大学へ郵送**

- 出願書類提出期限(消印有効)までに出願書類の郵送を行ってください。
- 「宛名ラベル」を任意の角2サイズの封筒に貼り、「志願票」、「調査書」等を同封して簡易書留・速達で郵便局窓口から郵送してください。
- 必要書類の郵送期間内に郵送できるように、出願登録前に入学検定料の支払い可能時間や郵便局の受付時間を確認のうえ、余裕をもって手続きを行ってください。
- 印刷した「宛名ラベル」を使用せずに必要事項を手書きすることも可能です。

(2) 出願必要書類提出方法

出願必要書類一式を必ず「書留速達」で本学へ郵送してください。（郵送期間内消印有効です。）

(3) 注意点

- ① 締切日を過ぎた消印の場合や正規の方法以外による出願は一切受理しません。
- ② いったん納入された入学検定料は、理由のいかんを問わず一切返還いたしません。
- ③ 提出された出願書類は返却いたしません。
- ④ 出願後に入試制度、学部・学科等を変更することはできません。

受験票について

受験票は各自で印刷し、試験当日に持参し、合格発表まで大切に保管してください。大学から受験票を郵送はしませんので注意してください。

1 受験票の発行

- (1) 出願手続きが完了すると受験票PDFを表示(印刷)できるようになります。
- (2) 受験票PDFが印刷可能となりましたら、登録したメールアドレスへメールでお知らせします。
- (3) メールのお知らせが届いたら、受験票を表示するURLがメール本文に記載されておりますので、そちらをクリックすると「出願登録／受験票印刷」、さらにクリックすると「出願内容の確認」、「出願履歴」へ進みます。そして、「出願履歴」の画面の **デジタル受験票ダウンロード** というボタンが表示されれば、受験票を印刷することができます。
- (4) 受験票の印刷案内メールが届くのは、出願必要書類が本学に到着した翌日を目安としてください。

2 受験票の取り扱い

- (1) 受験票は、試験当日必ず持参してください。
- (2) 受験票を試験当日に忘れた場合は、受付窓口へ申し出て、受験票再交付の手続を行ってください。
- (3) やむを得ない事情により受験票を試験当日に受付窓口で受取る場合は、引渡しの手続や受験票の記載事項確認等に時間がかかりますので、早めに受付窓口へ申し出てください。
- (4) 受験票には、受験番号の他、集合時間、試験開始時間等重要な項目が記載されていますので必ず確認してください。
- (5) 受験票は、合格発表まで大切に保管してください。

試験当日の注意事項

1 試験会場

- (1) 受験票に記載された集合時間をよく確認し、遅刻しないように注意してください。試験開始から20分以上遅刻した場合、試験会場への入室は認めません。天候不順や事故等による交通機関の遅れを考慮して、早めに会場へ到着するようにしてください。
原則として本学では追試験・再試験は行いません。ただし、大雪や地震等により、試験会場への交通機関に大幅な遅れや停止があった場合は、試験時間の一部繰り下げの場合があります。これに伴う受験者の個人的損害について本学は責任を負いません。
万が一、交通機関の事故等により遅れる場合は、速やかに企画入試課（045-922-6105）まで連絡してください。
- (2) 試験会場を間違えた場合は受験できませんので、事前の確認を十分に行ってください。
- (3) 試験会場へは、案内掲示板もしくは係員の誘導指示に従って入場してください。
- (4) 試験会場では受験番号と同じ番号の席に着き、受験票は机上（通路側）に置いて静かにお待ちください。
- (5) 当日の携行物

- ・ 受験票
- ・ 筆記用具【HBの黒鉛筆（シャープペンシル可）、鉛筆削り（電動式を除く）、プラスチック消しゴム】
- ・ 昼食（飲物などを含め、各自で用意し、持参してください）

- (6) 定規、コンパス、下敷きの使用はできません。
- (7) 計算機・辞書等の機能を持つ腕時計等は試験会場に持ち込むことはできません。
- (8) 携帯電話や音の出る機器は試験会場への入室前に必ずアラーム機能等の設定を解除した上で電源を切り、当日に配布される指定の封筒に入れ、カバンの中にしまっておいてください。当日は係員から取扱いについての指示がありますので、それに従ってください。

2 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症について

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症にかかり治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。

ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。新型コロナウイルス感染症に関しては、今後国からの通知などにより対応します。その場合は速やかにホームページなどで周知いたします。

3 その他

- (1) 試験時間は試験会場内に備えつけられた時計ではなく、試験監督者の指定した時計を使用し計測します。
- (2) トイレは混雑が予想されます。試験会場各所のトイレを確認した上で、利用してください。
- (3) 上履きは不要です。
- (4) 原則として自動車、バイク等での構内への乗り入れ及び本学付近の路上駐車は厳禁です。
- (5) 試験当日の昼食などは必要に応じ、各自で用意してください。

合格発表

発表方法

(1) 郵送による合格発表 合格通知書と入学書類一式を郵送

合格者には、合格通知書と入学書類一式を速達で郵送します。

なお、合格発表日に郵送しますので、到着は発表日の翌日以降になります。従って、到着まで多少の遅れが生じることがあります。

(2) 高等学校へ郵送による合格発表

合格者の他、合格者の高等学校へ合格発表を速達で郵送します。

(3) 電話等による合否の問い合わせへの回答や、学内掲示板による発表は行いません。

入学手続

次の入学手続(1)(2)を行ってください。全て終了すると入学手続が完了します。

なお、入学手続締切日（消印有効）までに手続が完了しない場合は、入学の意思が無いものとみなし、入学書類は返却いたしません。

(1) 入学手続締切日（消印有効）までに誓約書等の書類提出が必要です。

合格者には入学手続に必要な書類を同封しますので、その手順に従い手続をしてください。

(2) 合格者は所定の学納金等を期日までに本学指定の銀行口座に振り込んでください。

入学前教育

入学手続終了者を対象に、本学教員が講師となって独自に行っています。12月から3月までの期間内に本学にて数回行う予定です。目的は、以下の4つです。

(1) 横浜創英大学の学生として、学園理念の「考えて行動のできる人」の意識をもつ機会とする。

(2) 入学後に備え、学習意欲や学習姿勢を維持するための動機づけとする。

(3) 入学後の学習に無理なく入れるように、高等学校で培った基礎学力を改めて確認する機会とする。

(4) 大学の1コマ90分授業に慣れる機会とする。

内容は、国語、英会話、理科など教養科目や、講義を予定しています。内容については変更することもあります。

入学手続が済んだ方で参加可能な方は入学前教育に是非参加してください。

横浜創英大学奨学金（給付型）

この奨学金は、在学中の前年度学業成績が優秀で品行方正な学生に対し給付を行うものです。
給付金内容は次のとおりです。

- (1) 対象者は各学部2～4年次生
- (2) 人数は各学部各年次2名以内
- (3) 給付額は年額18万円

横浜創英大学後援会家計支援奨学金（給付型）

この奨学金は、入学後において家計の事情が変わり、修学を継続することが困難と認められる学生の学納金を援助することを目的として給付を行うものです。

内容は次のとおりです。

- (1) 対象者は申請資格要件を満たす者
- (2) 人数は当該年度の前後期合わせて4名以内
- (3) 給付額は25万円（在学中1回のみ）

奨学金・教育ローン

修学期間中の経済的な負担を軽減させ、修学目的を達成させるために「国の教育ローン（日本政策金融公庫）」、「日本学生支援機構の奨学金」、「地方公共団体・民間育英団体の奨学金」の他、希望により神奈川県や横浜市、民間医療機関などが設けている修学資金制度を利用することができます。

各種奨学金制度を利用する場合には審査があります。

1 奨学金

(1) 日本学生支援機構の奨学金

★申込方法は、高等学校等の窓口で申込む予約採用と、大学入学後に申込む在学採用があります。

<修学支援新制度>（授業料減免と給付型奨学金）

※当制度の支援は、対象校に在学している学生のみが受けられます。本学は新制度の対象校です。

経済的理由で大学への進学をあきらめないよう、令和2年4月から開始した制度です。世帯収入の基準と成績の条件を満たし、しっかりとした「学ぶ意欲」があれば、受けることができる支援制度です。

奨学金の給付と併せて、授業料・入学金も免除または減額されます。

●修学支援新制度／給付型奨学金

・自宅通学	第Ⅰ区分	3万8千3百円
	第Ⅱ区分	2万5千6百円
	第Ⅲ区分	1万2千8百円
・自宅外通学	第Ⅰ区分	7万5千8百円
	第Ⅱ区分	5万6百円
	第Ⅲ区分	2万5千3百円

●修学支援新制度／授業料等の減免額

第Ⅰ区分	入学金	26万円	授業料	70万円
第Ⅱ区分	入学金	17万3千4百円	授業料	46万6千7百円
第Ⅲ区分	入学金	8万6千7百円	授業料	23万3千4百円

<貸与型>

主に第一種奨学金（利子なし）と第二種奨学金（利子付）があり、貸与月額については次のとおりです。

- 第一種奨学金：自宅通学 2万円～5万4千円
自宅外通学 2万円～6万4千円
- 第二種奨学金：2万円～12万円

(2) 神奈川県看護師等修学資金（看護学部生のみ）

この修学資金は将来、神奈川県内に就業する予定の看護学生に貸付を行うものです。看護学部¹に在学する方のうち成績が優れ、かつ、卒業後、神奈川県内の病院等において看護師として業務に従事する意思のある方が対象となります。卒業後、返還の義務が生じますが、卒業した年の4月から規定の期間、継続して看護業務に従事した場合は返還が免除されます。

ただし、採用人数の制限がありますので必ず採用されるとは限りません。

(3) 民間医療機関からの修学資金（看護学部生のみ）

この修学資金は民間の医療機関等が看護師を確保するために看護学生に貸付を行うものです。将来、その特定の医療機関において看護師として業務に従事する意思のある方が契約を交わし、貸与されるものです。卒業後、看護師免許を取得し、契約を交わした医療機関において規定の期間、継続して看護業務に従事した場合は返還が免除されます。

ただし、契約を交わした特定の医療機関に就業しなかった場合、あるいは看護師免許を取得しなかった場合には返還の義務が生じます。

(4) 神奈川県及び市（横浜市、川崎市など）の保育士修学資金（こども教育学部生のみ）

この修学資金は神奈川県及び各市が、こども教育学部3～4年生又は4年生のみを対象に貸与を行うものです。（川崎市は1～4年生対象）

卒業後、神奈川県内及び市内の保育施設等において保育士の業務に従事する意思のある方が対象となります。卒業した年の4月から規定の期間、継続して保育士業務に従事した場合は返還が免除されます。

ただし、採用人数の制限があります。

また、県・市の修学資金の両方を受けることはできません。

2 公的な教育ローン

(1) 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

この教育ローンは、進学に関する家庭の経済的負担の軽減と教育の機会均等を図るために融資される公的な制度です。

(2) 生活福祉資金貸付制度（都道府県社会福祉協議会）

入学時に必要な経費や就学するのに必要な経費の貸し付けを各地方自治体が行う制度です。日本学生支援機構等、他の奨学金や借入が出来る場合は、利用することができません。

*すべての地方自治体が実施しているとは限りません。居住地区の市町村社会福祉協議会にお問い合わせください。

<貸付（無利子）>

- 就学支度費 50万円以内
- 教育支援金 月額限度額 6万5千円以内

3 提携教育ローン

提携教育ローンは、入学試験の合格に伴い発生する学納金等に対して、提携先金融機関が大学に立替払いを行うものです。

学納金 (令和4年度)

こども教育学部の学納金等 (学納金及び諸費用)

費 目	全 納	分 納		備 考	
	入学手続時	入学手続時	入 学 後 (後期分納入日)		
学 納 金	入 学 金	300,000円	300,000円	—	一年次のみ
	授 業 料	700,000円	350,000円	350,000円	
	施 設 設 備 費	300,000円	150,000円	150,000円	
	学 生 厚 生 費	48,000円	24,000円	24,000円	
	実 習 演 習 費	100,000円	50,000円	50,000円	
	学納金合計	1,448,000円	874,000円	574,000円	
諸 費 用	学 友 会 入 会 費	10,000円	10,000円	—	一年次のみ
	学 友 会 費	12,000円	6,000円	6,000円	
	後 援 会 費	12,000円	6,000円	6,000円	
	同 窓 会 費	12,000円	12,000円	—	一年次のみ
	傷 害 ・ 賠 償 保 険 料	4,010円	4,010円	—	一年次のみ
	課 外 教 育 費	15,000円	7,500円	7,500円	
	諸費用合計	65,010円	45,510円	19,500円	
一年次総合計	1,513,010円	919,510円	593,500円		

- (注) 1 幼稚園教諭、保育士の免許・資格に係る申請等の費用が別途必要になります。
 2 教科書代、実習に伴う交通費等が別途必要になります。
 3 実習演習費には学外における実習費、学内演習の教材費等が含まれます。
 4 令和4年4月1日以降は、納付された学納金等は、理由のいかんにかかわらず返還しません。

学校推薦型指定校制入試推薦書

記載年月日 年 月 日

横浜創英大学

学 長 北 村 公 一 殿

学校名

校長名

印

下記の者は、貴大学に入学するにふさわしい能力と意欲をもつと認め、ここに推薦いたします。

志 願 者	フリガナ		性 別	志 望 学 部 ・ 学 科
	氏 名		男 ・ 女	こども教育学部 幼児教育学科
	生年月日	平成 年 月 日生 (歳)		

1. 推薦理由（資質・学業成績・学習態度・日常の生活状況・交友関係等）をご記入ください。

(裏面につづく)

2. 学部のアドミッション・ポリシーに対して、「学力の3要素」から評価したことをご記入ください。

〔こども教育学部のアドミッション・ポリシー〕

子どもの行動に関心をもって探究し、保育・幼児教育の分野に貢献しようとする人。

多様な知識・技能を活用し、課題を見つけ、解決しようとする人。

卒業後も主体的に学び続け、他と協働し、率先して社会に役立とうとする人。

自分の良さを生かした専門性を身に付け、獲得した能力を統合して新たな課題に挑戦しようとする人。

(キリトリ線)

〔記載責任者〕

職名

氏名

印

学校推薦型指定校制入試志望理由書 (本人記入)

記載年月日 年 月 日

横浜創英大学

学長 北村公一 殿

フリガナ			性別	志望学部・学科
氏名			男・女	こども教育学部 幼児教育学科
出身学校	高校コード			
			立	科
			年 月	卒業見込み
				高等学校 高等部 中等教育学校

次の項目について、記述してください。

1. 本学志望理由

(裏面につづく)

2. 高校での活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動等）

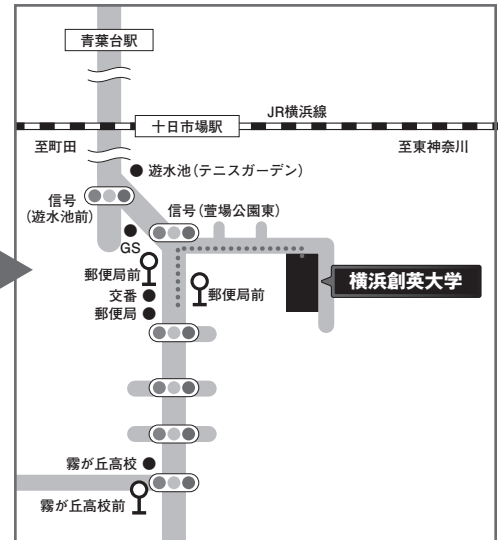
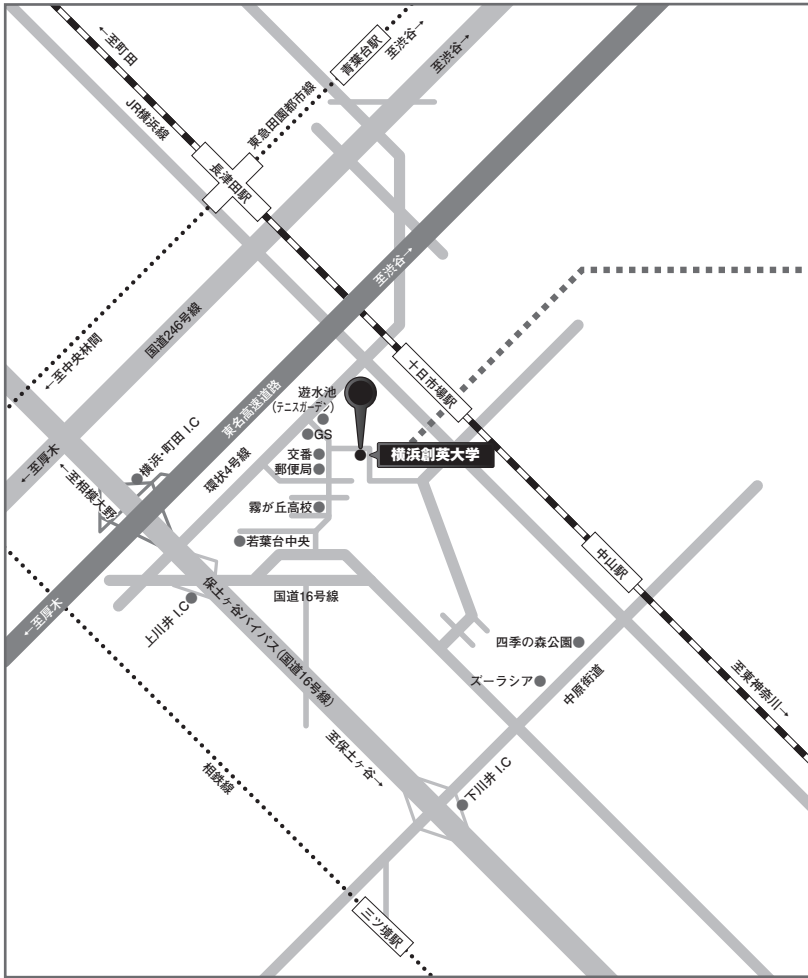
Blank writing area for section 2, consisting of 18 horizontal dashed lines.

3. その他学外の活動で特記する事項（特にない場合には記入しなくてもよい）

Blank writing area for section 3, consisting of 6 horizontal dashed lines.

（キリトリ線）

周辺地図 及び 交通アクセス



■ JR横浜線 十日市場駅から

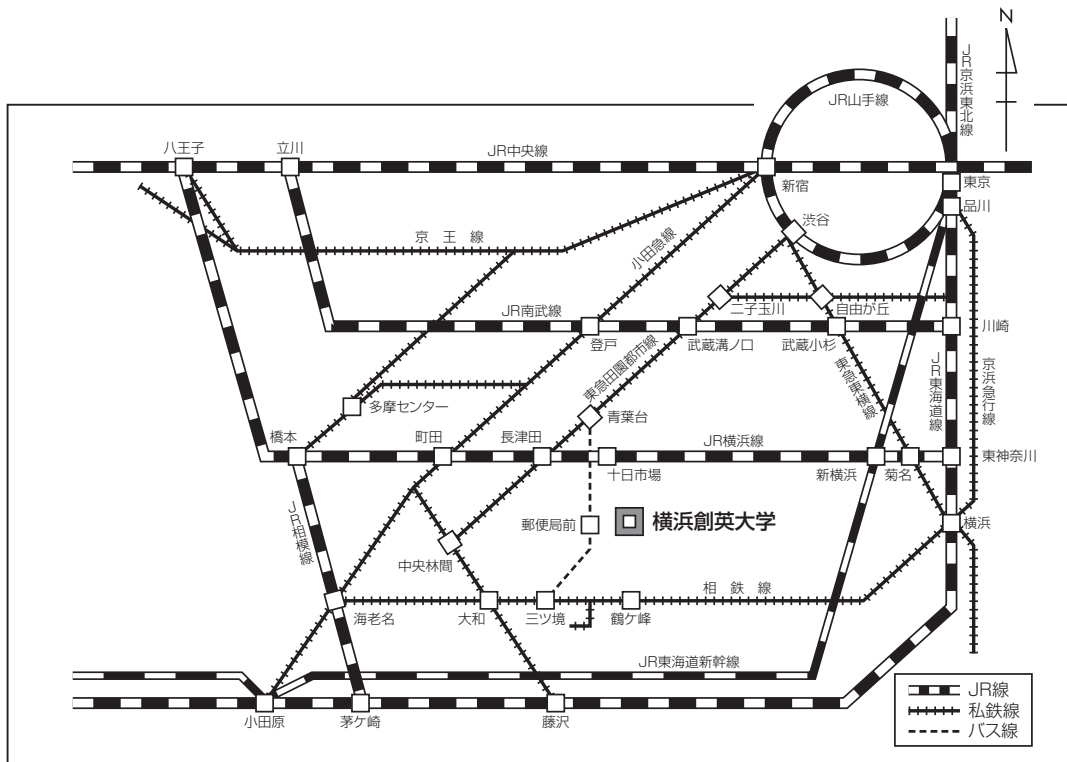
- ・十日市場駅前バス停1番乗り場から
《若葉台中央行き》(23系統)利用 郵便局前バス停下車 徒歩5分
- ・十日市場駅から徒歩20分

■ 東急田園都市線 青葉台駅から

- ・青葉台駅バス停8番乗り場から
《若葉台中央行き》(23系統)利用 郵便局前バス停下車 徒歩5分

■ 相鉄線 三ツ境駅から

- ・三ツ境駅北口バスロータリーから
《若葉台中央行き》(116系統・近隣公園前大貫橋経由)利用 霧が丘高校前バス停下車 徒歩15分
- 《十日市場駅行き》(境21系統・近隣公園前大貫橋経由)利用 郵便局前バス停下車 徒歩5分



学生募集要項

令和4年度

男女共学

こども教育学部
幼児教育学科

学校推薦型
指定校制
入試用



学校法人 堀井学園

横浜創英大学



〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町1番地 TEL : 045-922-6105 [企画入試課] FAX : 045-922-5642
E-mail . nyushi@soei.ac.jp URL . <http://www.soei.ac.jp>

系列校

横浜創英大学大学院

〒226-0015
横浜市緑区三保町1番地

横浜創英中学・高等学校

〒221-0004
横浜市神奈川区西大口28番地

横浜翠陵中学・高等学校

〒226-0015
横浜市緑区三保町1番地

京浜横浜幼稚園

〒221-0004
横浜市神奈川区西大口28番地

京浜保育園 パステル

〒221-0004
横浜市神奈川区西大口28番地